

JaNet

January 2018 No. 84

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次

2018年1月25日発行

- View from the Other Side 3
シリ・スハジニイさん(マレーシア)
- あちこち日本語ご紹介(国内編)..... 4
広島県 廿日市市
- あちこち日本語ご紹介(海外編)..... 5
タイ バンコク
- 教材紹介 6
『コミュニケーション能力を伸ばす授業づくりー日本語教師のための語用論的指導の手引きー』
『新完全マスター聴解 日本語能力試験 N 4』
『新完全マスター』シリーズラインナップ
- なんでも情報 BOX..... 8

スリーイーネットワーク

巻頭
寄稿

〈やさしい日本語〉が目指すもの



一橋大学国際教育センター 教授

庵 功雄

日本社会は外国人抜きでは成り立たない

私は東京の郊外に住んでいますが、近年、コンビニなどで外国人が働いている姿を目にする機会が増えたことを実感します。これは都市部に限ったことではなく、日本の農業や漁業も外国人抜きには成り立たなくなってきました。

〈やさしい日本語〉が生まれるまで

そうした状況を受けて、私たちの研究グループでは〈やさしい日本語〉の研究を始めたのですが、ここでは私たちの研究が生まれるまでをごく簡単に見ておきます。

外国人の日本語習得を容易にするために日本語に制限を加えるという考え方は以前からありますが、外国人に対する情報提供という観点からの研究が始まったのは、1995年の阪神淡路大震災のときでした。このときの悲惨な経験に基づき、災害時に、外国人に対して、簡略化された日本語表現(「やさしい日本語」)で情報を提供する方が考案されました。

こうした災害時の情報提供の問題は今後

も研究する必要がありますが、外国人に対する情報提供は「平時」においても重要です。私たちの研究グループではこうした認識のもとに研究を開始しました。以下では、私たちの研究グループの研究を紹介しますが、これを〈やさしい日本語〉と表記します。

〈やさしい日本語〉の2つの側面

〈やさしい日本語〉には、大きく分けて2つの側面があります。

1つは、「居場所作りのための〈やさしい日本語〉」で、主に成人の外国人を対象とします。

もう1つは、「バイパスとしての〈やさしい日本語〉」で、これは外国にルーツを持つ子どもたちやろう児が対象です。紙幅の関係でこれらについて具体的に述べることは割愛しますが、ご関心をお持ちの方は、参考文献(次ページ)の拙著をご覧ください。

外国にルーツを持つ子どもたちにとっての日本語

ここでは、外国にルーツを持つ子どもた

ちにとっての日本語について考えますが、彼／彼女らにとっての日本語の問題は多種多様です。例えば、小学校入学前に来日し、日本人と大差なく日本語を習得する場合がある一方、中学校入学期以降に来日した場合は、日本語習得に大きなハンディを負い、その格差が埋められず、日本における自己実現の可能性が閉ざされてしまうケースも少なくありません。

日本語教育に／でできること(1)

彼／彼女らのために日本語教育にできることは数多くあります。次を見てください。「外來の人になにもてきません。学校きたからみんなてわるいのはなしいわれました。この人ともだちない。自分てさふしたかたです。この人を中国から来ました。いろいろがわかないし。たれかおしえて欲しい。でもみなでわたしのきもちなんかわかないです。わたしはわかる一年前にわたしは日本にきたの学校にきたときにみんな怖い。学校にいきたぐない。こころときときする。教室の中に。みなてなんかいわれた。わたし

はいろいろかわかりません。たれかたすけて。自分で怖い[かた]。わたしは学校でいぢめることもあります。あのどき怖い[かた]。あの人のきもちわたしはわかります。あのときさぶし[かた]。]

(清水陸美『ニューカマーの子どもたち』勁草書房(2006)より)

これは、「来日2年になろうとする中学校1年生の中国籍の女の子」が実際に書いた作文です。この作文は一見、誤用だけですが、「この子は何を訴えようとしているのか?」という観点から考えれば、その真意を読み取ることは決して難しくありません。

例えば、下線部では清音と濁音がうまく書き分けられていませんが、これは、成人の中国語話者にもよく見られることで、日本語教育ではおなじみの現象です。一方、四角で囲んだ部分は撥音(「ん」)か促音(「っ」)が抜けていますが、このうち、促音が表記されないのは、日本人の子どもの作文にもよく見られることです。

また、波線部について言えば、ここで「いじめる」という形が使われていても、この文脈から考えて、それは「いじめられる」という活用形がわからないだけで、言いたいことは「いじめられる」だと考えることも難しくないと思います。

外国にルーツを持つ子どもたちの支援で重要なのは、こうした「わかりにくい日本語」を理解しようとすることや、そのためにどのようなことが必要なかを考えることです。

障害を持つ人にとっての日本語：ろう児の場合

〈やさしい日本語〉はろう児の日本語教育にも貢献しようとしています。

朝日新聞が2016年に「ろう者の祈り」という記事を連載しました。その中に、ろう学校から大学に進学し、卒業後故郷でパートを始めたろう者の経験を記した記事があります。

彼は、職場で懸命に口の形を読んで指示を理解しようとしました。それでもわからないところを書いて質問したとき、「おまえ、ほんとうに大学を出たのか?」と言われ、それ以降もむごいことばを浴びせ続けられます。そして、彼は笑顔を失い、「ぼくに生きる意味はあるの?」と自問するに至ります。

ここには複数の問題が含まれています。

第一は、ろう者にとって、日本語は母語

ではないということです。彼／彼女らにとっての母語は日本手話であり、日本語は第二言語(多くの日本人にとっての英語に当たるもの)にすぎません。しかも、日本語と日本手話は、日本語と英語が異なると同じように、別の言語なのです。

第二は、われわれが、たかだかてにをはのことをあげつらって、ろう者に生きる希望を失わせているという現実です。

日本語教育に／でできること(2)

こうした現実を変えるために、われわれ自身の認識を改めることが必要なのは言うまでもありません。しかし、今すぐ日本語教育にできることもあります。

私たちが英語を学ぶとき、「りんご」がappleで、「食べる」がeatであることがわかれば、「I eat an apple.」という文を作れます。逆も同様で、英語を母語とする学習者はこの逆のプロセスを経て、「私はリンゴを食べます。」という文を作れます。そして、大学の留学生教育において、このレベルで日本語学習に挫折する人はまずいません。

これは、英語の「I eat an apple.」という文において、動詞の前にある名詞が「主語」、動詞の直後にある名詞が「目的語」であり、主語には「は」「が」、目的語には「を」をつけるという方略(ストラテジー)を学習者が使っているためです。

ろう児に対する文法教育においても、これと同様の方法を使うことが考えられます。具体的に言えば、動詞は他動詞から始め、「主語」は「動作をする人」、「目的語」は「動作を受けるもの」と考え、絵を見ながら、主語に「は」「が」、目的語に「を」をつけるという練習をしていくのです。私たちは現在、東京都品川区にある明晴学園というろう学校において、こうした考え方に基づく文法教育を開始しています。

ろう児に対する日本語教育には、ろう者固有の困難点があることも予想されます。しかし、同様の困難点は、何語話者に対する日本語教育にも存在するものであり、困難点の現れ方が異なるに過ぎないとも言えます。何より、私たちには留学生を対象とする教育における豊富な経験値があるので、これを活かせば問題点は必ず解決できるはずで、そのためにも、日本語教育関係者がこの問題に関心を持つことが重要なのです。

「お互いさま」の気持ちで始めよう

ここまで、〈やさしい日本語〉についてごく概略的に述べてきました。この小文の最後に、〈やさしい日本語〉にとって最も重要だと私が考えることを述べたいと思います。それは、相手の立場に立って考えること、言い換えれば、「お互いさま」の気持ちを持つことです。

ボランティアとして外国人支援に当たる場合、日本語を「教える」だけでなく、相手の話を聞けること、相手を自分と対等な一市民と考えられること。こうしたことが「多文化共生」にとって何よりも重要です。

〈やさしい日本語〉の「やさしい」には「易しい」と「優しい」の2つの意味が込められています。こうした多面性を持つ〈やさしい日本語〉が、多文化共生社会の形成に役立つことを心から祈っています。

参考文献

『やさしい日本語—多文化共生社会へ』岩波新書(2016)

『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える 第2版』スリーエーネットワーク(2012)

シンポジウムのお知らせ

〈やさしい日本語〉と多文化共生

日時:2018年2月17日(土)18日(日)

会場:学習院女子大学(東京都新宿区戸山3-20-1)2号館

詳しい内容については

庵功雄 HP <http://www12.plala.or.jp/isaioiri/> をご参照ください。

庵 功雄 (いおり いさお)

一橋大学国際教育センター 教授

大阪大学大学院文学研究科現代日本語講座博士課程修了

博士(文学・大阪大学)

最新刊は『中国語話者のための日本語教育文法を求めて』(共著)日中言語文化出版社、『一歩進んだ日本語文法の教え方1』(単著)くろしお出版

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

今では日本語が私の一部

日本語との出会い

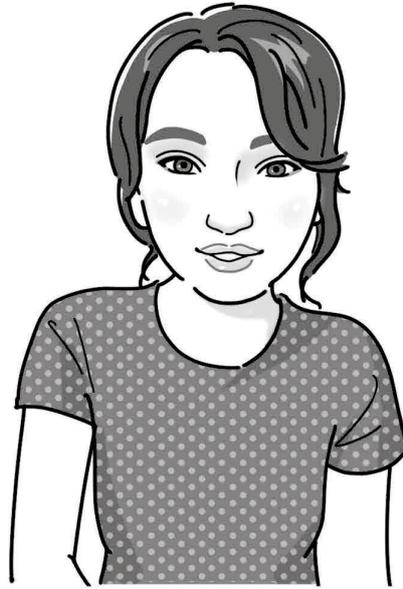
初めまして。私は、シリ・スハジニイともうします。2017年に17歳になりました。趣味は新しい言語を学ぶことです。今は6つの言語が話せます。2013年に Methodist Girls School Klang という高校に入りました。その時は海外のことをあまり知りませんでした。日本のことも何も知らなくて日本語を勉強しようというかんがえもまったくありませんでした。でも、高校に入ったばかりの時、初めてマレーシアの学校で日本語の授業があることを聞いて、とてもびっくりしました。私はアニメや漫画などにあんまり興味をもっていなかったのですが、言語が大好きなので挑戦しました。

私の日本語の先生はナディア先生という人です。優しく、いつも熱心で私たちに日本語を教えてくださいました。先生の教え方は分かりやすいので、早く日本語を取り入れることができました。日本に全然興味がなかった私が3ヵ月後には日本のことが大好きになりました。日本語クラブにも入部し、いつのまにか日本語の勉強よりクラブ活動に夢中になりました。

日本語クラブでは毎年熱心にいろいろな大会や活動などに参加します。例えば、JL フェスティバルでは日本の文化とかんけいがある大会が行われます。その中には、ソーラン節やにほんご合唱、ゆかたコンテストなどの大会があり、私の学校は一年中この大会のために練習とじゅんびをします。練習の時、先輩がいつも厳しく後輩たちを教えます。あさからよるまで私たちはいっしょけんめい頑張ります。大変なこともありましたが、私にとってそのときが高校人生で一番楽しかったです。先輩、後輩たちとも一緒に汗かいて、遊んで、泣いて、わらった瞬間をいつまでも忘れなと思います。

諦めない精神力を身につけるために

小さい時から英語やマレー語などのス



シリ・スハジニイ

2000年マレーシア・クランに生まれる

2013年 Methodist Girl's School Klang 入学

2016年マレーシア国内日本語弁論大会で優勝、初来日、「海外高校生による日本語スピーチコンテスト(愛媛県新居浜市)」に出場。3位(愛媛県知事賞受賞)

2017年に再来日。Methodist Girl's School Klang 卒業。日本留学を目指して勉強中

ピーチコンテストに参加しています。JL フェスティバルのスピーチコンテストでは一年生の時2番になったので、二年生の時1番になるように願っていました。でも、その時大変なことになって、話の最終段階にスクリプトを忘れて舞台から逃げてしまいました。とても恥ずかしくて、今でもその瞬間が忘れられません。もう日本語を勉強することを諦めようと思いました。でも、日本人を尊敬していた私にはそんなことはできませんでした。

日本人は何回つなみやじしんなどの災害があっても諦めずに、くいをまた立ち上げるためにいっしょけんめい頑張ります。そういう精神を自分も身につけたかったのです。それで、日本語をもっと上手になるために頑張りました。ドラマやアニメをみて、日本語の

能力試験を受け、日本語が上手になりました。また同じ大会に参加して2年連続優勝しました。それだけでなく一年生から憧れていた全国日本語弁論大会に、2016年にやっとなることができました。2013年に私の大先輩がこの同じ大会に参加して3番になって、日本のおおさかにいきました。ずっと日本にいきたくった私にとって、この大会に参加できて、しかもその大会で優勝したことを今でも信じられません。日本語を学ぶのを諦めなくてよかったです。その後、マレーシアの代表として日本の愛媛で Japanese Speech Award というプログラムで行っていた「海外高校生による日本語スピーチコンテスト」に参加して3番になりました。それは私の人生で最も誇りに思う出来事でした。

日本の大学に留学したい!

今年もまた日本に行く機会があり、日本語を学ぶ旅がとても楽しみです。初めて日本語の授業に参加した時、“いつか先生や先輩たちのように私も日本語がしゃべれるかな?”と思った私が今日しぜんにしゃべれるようになってきたのはそうぞうできませんでした。でも、今は日本語が私の一部になりました。これからも、日本語を頑張るって日本の大学に留学することが私の目標です。いつかこの目標がかないますように。

マレーシアの教育制度

マレーシアでは初等教育6年、中等教育5年(前期3年、後期2年)、大学予備教育1~2年となっています。

初等教育は日本の小学校にあたり、一般的に満7歳~12歳の6年間通います。中等教育は、13~17歳の5年間通います。日本と比べると大学に入るまでに1年少ないため、大学予備教育として入学のための勉強をする期間がある等、少々複雑なようです。



日本語ご紹介

国内編

広島県 はつかいち 廿日市市



地域とのつながりをめざして—宮島日本語教室—

廿日市市国際交流協会

福田 規子

廿日市市は広島市の西隣で、北は島根、山口両県と境を接し、南は瀬戸内海に面している市です。広島都市圏の一部であると同時に、豊かな自然にも恵まれています。人口は約12万人、外国人住民は約1%を占めています。

廿日市市国際交流協会では現在市内5か所で日本語教室を開催し、各地域のニーズに合わせた日本語支援を行っています。市の中心部では、火曜、木曜の夜間と金曜の午後の3つの教室があり、日本人の配偶者、技能研修生、ALT(外国語指導助手)、ビジネス関係など様々な国の人たちが参加しています。中山間地域の佐伯地区、南部の宮島地区では、それぞれの地域に集住する技能研修生、日系労働者を対象とした教室が開かれています。今回は、宮島教室を紹介します。

宮島日本語教室開設の背景

世界遺産の宮島、2016年には約430万人もの観光客が訪れ、外国人客も28万人に達しました。しかし、宮島の島内人口1,656人のうち、外国人は81人(5%)で、廿日市市の他の地域に比べて外国人住民の割合が高いことは市民にもあまり知られていません。彼らの多くは、牡蠣養殖業に従事している日系フィリピン人です。観光客で賑わう厳島神社とは反対側の島の北東部杉之浦地区に住んでいます。子どもたちは地元の学校に通っていますが、大人は、20年以上宮島で生活している人でも普段は日本人と話す機会がほとんどありません。郵便物や学校からのお知らせなどが理解できずに放置した結果、支払いや提出の期限を過ぎてしまう

など、多くの問題を抱えていました。このような現状を踏まえて、協会では、2014年6月、宮島在住のフィリピン人から聞き取りを実施しました。このとき、日本語を学びたいとの要望があり、同年10月から「宮島日本語教室」がスタートしました。当初は宮島在住の日本人支援者を募る予定でしたが、高齢者が多いため島内では支援者が見つからず、協会のボランティアスタッフが本土から通うことになりました。

教室の様子

月1回土曜日の夕方、牡蠣打ちの仕事を終えたフィリピン人たちが杉之浦市民センターに集まってきます。クラスは、入門、初級に分かれ、毎回4~5名のボランティアスタッフが対応しています。日本語の学習だけでなく、ゴミの分別・出し方について話したり、マイナンバーの基本を説明したり、税金や入学手続きの質問に答えたりなど、生活のサポートもしています。常連さんもいれば、初参加の人、久しぶりに顔を見る人、まちまちですが、共通しているのは皆さんの笑顔です。ひらがな、カタカナ、簡単な漢字、それらを使って生活に直結した表現や会話の練習。少しずつの歩みですが、「できるようになった」という喜びが伝わってきます。フィリピンの珍しい果物を教えてもらったり、フィリピン料理のレシピを一緒に書いた



日本語教室の様子。楽しい学びの場に

りと、支援者にとっても楽しい学びの場です。

地域の日本人との交流

2014年にスタートして以来、日本人ボランティアとは年2回交流会を行ってきましたが、宮島在住の日本人との橋渡しになれるように2016年6月に初めて島内の住民にも参加を呼びかけました。牡蠣養殖業の経営者や近所のお年寄りなど、約30名の日本人が参加し、フィリピンの料理を食べたり、日本の歌を歌ったり、ゲームをしたり、楽しく交流しました。これがきっかけになり、この年の10月には市民センター祭りにも参加しました。12月のクリスマス会でも、並べられたフィリピン料理に舌鼓を打ち、歌やダンスで盛り上がり、相互の理解も深まりました。



クリスマス会にて。みんないい笑顔

今後の展望

高齢化が進む宮島地区では、フィリピンの若い人たちは地域活性化の人的資源として期待されます。防災活動などにも一役買ってもらえるよう、これからも地域の方々との接点となる交流の場を増やしたいと考えています。都市化が進む市の中心部とは裏腹に山間部では過疎化が進んでいる現在、このような日本語教室を通してのつながりが廿日市市の各地域にも広がってほしいなと思います。



日本語ご紹介

海外編

タイ バンコク



元日本留学生・研修生がつくった ものづくり教育大学と日本語教育

泰日工業大学

学長顧問 吉原秀男

10周年を迎えた泰日工業大学

ものづくり教育、課題解決型学習(PBL)、企業ニーズに応える、日本企業文化習得など、従来のタイにはない革新的な教育内容をもつ泰日工業大学(以下、TNI)は、入学生数433人(開学時)から2017年は1,246人になり、在籍学生数も4,428人になりました。また累計卒業生は4,555人で、237あるタイの大学の中で、就職評価を含め、タイ企業や日系企業から高い評価を受けています。

今は恵まれた環境に見えますが、TNIのルーツを探りますと50年ほど前の1970年頃にさかのぼります。日本商品ボイコット運動から反日的な運動が起きる中、元日本留学生と研修生が、最終的には愛国心をもって共存共栄を図るタイ国社会の改造・改善運動で、親団体のTPAをつくりました。最初は社会人対象の技術セミナーや日本語事業でしたが、将来の中核産業人材を育成し、研究開発を通じて産業の高度化に貢献するという工業大学設立の夢をずっと持っていました。これらの活動や日本企業の努力が、2017年の日タイ修交130年を祝う環境になったと言えます。

TNIは専門技術だけでなく、語学・コミュニケーション力と産業に必要な組織力に重点を置き、また400社を超える民間企業がインターンシップでこれらの実務力強化に協力しています。さらに、規律・社会規範順守、チームワークなど、タイと日本社会との比較反省に基づき、カイゼン、ものづくりの思想、反省、リスペクト(自他の尊重)、オネスト(誠実)、公益意識がタイ人に必要な6つの中核価値として、産業社会に重要で、仕事と生活の質向上に役立つと指導しています。

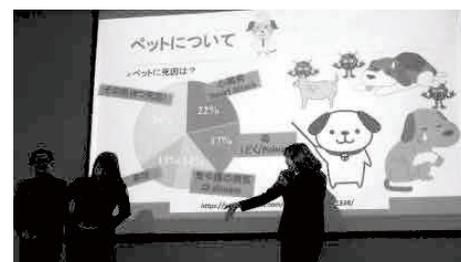


年2回実施する日本語スピーチ大会

TNI日本語教育の特長と実施態勢

全学部生に日本語を必須にしており、日本語講師37人(内、日本人15人)が担当しています。日本語は、第一に日本のものづくりを理解する大きな手がかりであること、第二に日系企業就職に重要なツールでもあります。特にカイゼン、ホウレンソウ、五ゲン主義などは、単純に翻訳できず、その背景、文化環境を理解してもらう必要があります。一般の日本語授業はN4レベルを目標にし、一方、経営学部日本語・経営学(BJ)課程はN3レベルを目標、そのうちの日本語副専攻者には、それ以上を目標にしています。

大学4年間の学習時間は約1,500時間と限られ、日本語・英語のみならず、専門技術を学ぶ時間も含まれます。限られた時間で目標を達成するために、ルーツは「みんなの日本語」などですが、独自の教科書を開発し、日本語教育を週2回実施、少なくとも3年の前期までに合計225時間(BJ課程は720時間)指導します。また、補習として個別(個人・グループ)指導を行う「日本語チャットルーム」やボランティアとの自由会話時間、日本人交換留学生との交流、さらに短・長期の日本語留学を奨励し、毎年200人以上の語学留学の機会を設けることなどでカバーしています。この結果、約1年前の調査では、N2合格者は44人、N1合格者は9人いました。



経営学部の新商品企画日本語プレゼン・コンテスト

日系企業就職と卒業生の現況・TNI 5年計画

日本企業文化を理解する姿勢がある TNI 生は100%の就職率が達成されています。日系企業や日系取引企業への就職は、日系企業が少ない情報技術学部卒業生は5割弱ですが、工学部や経営学部卒業生はそれぞれ7割、6割になります。まだ多くは卒業後まもなく、中核産業人材になるにはこれからですが、TNI10周年記念誌で紹介した卒業生は、社長秘書、エンジニア、ITスペシャリスト、企業経営者、ビジネスアナリスト・コンサルタントで、上記3つの学部出身を反映しています。また、タイ政府の2036年に先進国の仲間入りを目指す「タイランド40」のビジョンがありますが、TNIではこれに呼応する、5年計画を発表しました。研究開発拠点(COE)の設置や、タイだけでなく世界の学生向けの国際プログラムなどを計画しています。詳細はウェブの10周年記念誌と大学案内をご参照ください。URL: <http://www.tni.ac.th/tni2016/main/index.php?option=contents&category=53&id=34>

教材紹介

『コミュニケーション能力を伸ばす授業づくり —日本語教師のための語用論的指導の手引き』

清水崇文 著

四六判 160頁 1,400円+税 3月発行予定



学習者のコミュニケーション能力を伸ばしたいと考えているすべての先生に

上智大学言語教育研究センター / 大学院言語科学研究科 教授 清水崇文

本書は、教師経験の浅い方、日本語教師になるために勉強中の方、語用論や第二言語習得研究の専門的な内容にはあまり馴染みのない方などを対象に執筆された、語用論的指導の手引き書です。

近年の学習者数の増加、背景の多様化に伴い、日本語を学習する目的も多様化してきたと言われていますが、多くの学習者にとって日本語を学習する主要な目的はやはり「対面コミュニケーション能力の獲得」でしょう。

対面コミュニケーションは、話し手と聞き手の関係や会話をしている状況などの「社会的・状況的文脈」なしには成り立ちません。そして、そうした社会的・状況的文脈は、コミュニケーションの内容(伝達される意味や伝達の仕方)に影響を及ぼします。そのため、学習者の獲得すべき対面コミュニケーション能力を考える際には、「社会的・状況的文脈と意味の関係」という視点を欠くことはできません。この「社会的・状況的文脈と意味の関係」を考える言語学の分野が語用論です。

本書では、学習者の日本語の対面コミュニケーション能力を伸ばすために日本語教師はどのようなことができるのか、何をすべきなのかについて、語用論の分野の研究成果に基づいた提案をしています。

まず、「第1章:言語教育実践のための枠組み」では、コミュニケーション能力を養成する言語教育実践のための3つの枠組みを検証し、それらの枠組みに基づいた教育実践の課題(言語コミュニケーションにおける「適切さ」の側面が軽視されがちであること)を明らかにします。

続く、「第2章:コミュニケーション能力」では、対面コミュニケーション能力の養成を目指した言語教育実践において、なぜ「適切さ」の側面をないがしろにはいけないのかを、第二言語習得研究の分野で提唱されているコミュニケーション能力の構成要素のモデルや語用論の理論(発話行為やポライトネス)に基づいて考えます。

「第3章:学習者の語用論的能力」では、語用論や第二言語習得研究の知見を参考にしながら、学習者の語用論的知識の習得に関して多くの日本語教師が抱く以下の3つの疑問に対する答えを提示します。

疑問1: 語用論的失敗の原因は何か?

疑問2: 語用論的知識は日本で生活していれば自然に身につくのではないかな?

疑問3: 語用論的知識は教室で教えることができるか? 何をどのように教えればよいのか?

最後に、「第4章:語用論的指導」では、学習者の対面コミュニケーション能力を伸ばすための授業の方法を考えます。本章では、読者の皆さんが教室で指導する際の参考にしていただくために、以下の5つのポイントを押さえた語用論的指導の案を、具体的な活動例を示しながら解説していきます。

- 1 意図の伝達と相手への配慮のバランスを意識させる
- 2 言語形式と機能と社会的・状況的文脈の関係に対する効果的な気づきの機会を与える
- 3 語用論的規範や傾向、発話行為の談話構造や丁寧度の調整の仕方に関する明示的な説明を与える
- 4 個別具体的な文脈の中でコミュニケーション的な運用練習を行う
- 5 発話の適切さに対するフィードバック(否定証拠)を与える

私は、2013年に『みがけ! コミュニケーションスキル 中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』(スリーエーネットワーク刊)を上梓して以来、日本全国のいろいろな場所で、地域で日本語を教えている先生方を対象として語用論的指導についての講演をしてきました。そうした折に、「講演の内容がもっと詳しく書かれた本が欲しい」というご要望を何度かお聞きしました。そうしたご要望にお応えするために本書を執筆しました。本書を通して、読者の皆さんが語用論的知識を教室で教えなければならない理由をしっかりと理解・納得され、ご自身の教室指導に語用論的指導を取り入れるきっかけになれば、著者としてこれほど嬉しいことはありません。

『新完全マスター聴解 日本語能力試験 N 4』

中村かおり・福島佐知・友松悦子 著

B5判 63頁 別冊31頁 CD 2枚付(アプリあり) 1,500円+税 2月発行予定

NOW
PRINTING

問題形式別に、必要なスキルを身につける

拓殖大学外国語学部 准教授 中村かおり

聴解の学習方法がわからないという学習者は大勢います。本書は、「どのように聞くか」というスキルを、日本語能力試験の形式別に一つずつ身につけられるようにまとめ、N4レベルの聴解試験の問題集として作成したものです。また、試験対策としてだけでなく、広く初級レベルの日本語力を高めながら、聞き取りの能力を養うこともできます。

■本書の特徴

- ①問題形式に合わせて、それぞれに必要なスキルを学ぶことができます。
- ②各スキルを段階を踏んで学習することにより、無理なく聴解の力を身につけられます。
- ③易しい日本語で書いてあり、翻訳もついているので、自習に使うことができます。
- ④初級レベルの学習者がつまずきやすい点に焦点を当てているため、初級の復習教材としても活用できます。

■本書の構成

- 問題紹介
- 実力養成編
- 模擬試験

まず、「問題紹介」で、問題の形式とその解法を概観します。次に「実力養成編」で、問題形式別に、必要なスキルを身につけるための学習をします。例えば「発話表現」では、場面や状況に合う発話がすぐに判断できることが求められます。そのため本書では、「書いてもいいですか／書いてくれませんか。」のような発話がだれの動作を表す表現かを判断する練習や、「コピー機が動かないんですが。」のように、助けてもらうために自分の問題を知らせる言い方など、声をかけるときのいろいろな言い方に注意する練習をします。

最後に「模擬試験」で、実際の試験と同じ形式の問題を解いてみることによって、どのくらい力がついたかを確認します。

ただ繰り返し聞くだけでなく、本書を使って「どのように聞くか」というスキルを学ぶことによって、学習者の皆さんの聴解力、ひいては日本語力が向上することを願っています。

『新完全マスター』シリーズラインナップ

『新完全マスター』は「漢字」「語彙」「読解」「文法」「聴解」「単語」各シリーズの著者による緻密な分析のもと、日本語能力試験それぞれのレベルで身につけるべき「重要な学習項目」を網羅、収録しています。厳選された学習項目に沿って、“質、量ともに充実した問題”を解き進め、「試験突破に必要な力を着実に養成すること」、また“試験対策”にとどまらず「総合的・実践的な日本語力の向上をはかること」をコンセプトに本シリーズは制作されました。

N3レベルの教材は『単語』を除いた全ての解説部分に英語、中国語の翻訳が付いています。また、『ベトナム語版』は解説部分にベトナム語の翻訳が付いています。

ウェブサイト「特別連載 日本語教科書活用講座」では本シリーズの『漢字』『語彙』『文法』の活用例や、授業の進め方を紹介しています。ぜひご覧になってみてください。

http://www.3anet.co.jp/nihongo_text_kouza/



<N1>

漢字／語彙／文法 各1,200円+税
読解 1,400円+税
聴解 1,600円+税

<N2>

語彙／文法 各1,200円+税
漢字／読解 各1,400円+税
聴解／単語(英語・中国語・ベトナム語の翻訳付き) 各1,600円+税

<N3>

漢字／漢字ベトナム語版／語彙／語彙ベトナム語版(2月発行予定)／文法／文法ベトナム語版 各1,200円+税
読解／読解ベトナム語版 各1,400円+税
聴解／聴解ベトナム語版 各1,500円+税
単語(英語・ベトナム語の翻訳付き) 1,600円+税

<N4>

文法(解説部分に英語の翻訳付き)／文法ベトナム語版 各1,200円+税
聴解(解説部分に英語・ベトナム語の翻訳付き 2月発行予定) 1,500円+税
読解(解説部分に英語・ベトナム語の翻訳付き 4月発行予定) 1,200円+税(予価)



なんでも情報BOX

Books ほん

すべて本体価格です

日本語初級2 大地 文型説明と翻訳 ベトナム語版	1月発行予定	2,000円
新完全マスター語彙 日本語能力試験N3 ベトナム語版	2月発行予定	1,200円
新完全マスター聴解 日本語能力試験N4	2月発行予定	1,500円
コミュニケーション能力を伸ばす授業づくり	3月発行予定	1,400円
新完全マスター読解 日本語能力試験N4	4月発行予定	1,200円(予価)

Seminars セミナー

『日本語教育のスタートライン 本気で日本語教師を目指す人のための入門書』増刷記念セミナー
地域でも、学校でも「プロフェッショナル」な日本語教師を目指すために in 札幌

講師：荒川洋平

(東京外国語大学 国際日本学研究院 教授)

日時：3月17日(土) 14:00-17:30 (受付開始 13:15)

会場：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前

(札幌市中央区北4条西6-1 毎日札幌会館5階)

定員：80名(先着順。定員になり次第、締め切ります)

対象：日本語教師を目指している方・日本語教育の経験の浅い方

参加費：2,000円

※当日受付でお支払いください。一度お支払いいただいた受講料はご返金できませんので、ご了承ください。

主催：スリーエーネットワーク

問合せ/申込み先

スリーエーネットワーク講座係

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラステイ麹町ビル2F

TEL : 03-5275-2722 FAX : 03-5275-2729

E-mail : kouza@3anet.co.jp

お申込みの際は、セミナー名(開催日)・お名前・ご所属・ご住所・お電話番号、及び「日本語教授歴」・「このセミナーに期待すること」を明記してください。電話での申込みはお受けできませんので、FAX、E-mail、はがきにてお申込みください。

京都市国際交流協会・京都国際文化協会主催セミナー

「話す力」「会話力」をのばす授業づくり

—『日本語初級 大地』を使って—

講師：山崎佳子

(横浜市国際交流協会(YOKE) 日本語教室アドバイザー)

日時：2月17日(土) 14:00-16:00 (受付開始 13:30)

会場：京都市国際交流会館3階研修室

(京都市左京区粟田口鳥居町2-1)

定員：50名

参加費：1,000円(kokoka 日本語クラスチューター、

KICA 会員 無料)

主催：公益財団法人 京都市国際交流協会(kokoka)

一般財団法人 京都国際文化協会(KICA)
協力：スリーエーネットワーク

問合せ/申込み先

一般財団法人 京都国際文化協会

TEL : 075-751-8958 E-mail : kica@kicainc.jp

URL : http://kicainc.jp/

お申込みの際は、電話またはメールで、お名前・お電話番号をお知らせください。

Information お知らせ

スリーエーネットワークのウェブサイトでは教材の活用法を紹介する「特別連載 日本語教科書活用講座」や教材の語彙訳、プリントなどの補助教材、教師用資料をご用意しています。登録不要で、どなたでもご覧いただけます。ぜひご利用ください。

特別連載 日本語教科書活用講座

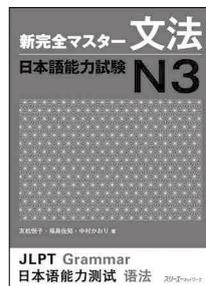
日本語教材を購入したけれども、イマイチ使い方が分からない。実際にその教科書を使ってどのような授業をしているのを知りたい、と思ったことはありませんか。ウェブサイトでは、様々な学校の先生方に教材を使った授業例をご紹介します。キーワード「日本語教科書活用講座」で検索してみてください。

教材の一例

- ・『みんなの日本語』
- ・『日本語初級 大地』
- ・『中級へ行こう』
- ・『新完全マスター文法 日本語能力試験N3』



http://www.3anet.co.jp/nihongo_text_kouza/



補助教材コンテンツ無料ダウンロード

教材の語彙訳やチェックテスト、指導の手引きなど、様々なコンテンツがございます。補助教材はウェブサイトのそれぞれの書籍ページからご覧いただけます。

補助教材の一例

- ・『みんなの日本語 初級 第2版 漢字 英語版/ベトナム語版』漢字練習シート
- ・『日本語初級 大地』語彙訳
- ・『新完全マスター単語 日本語能力試験N3 重要1800語』単語の音声、翻訳(英語・ベトナム語)、「読んでみよう」
- ・『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』索引のベトナム語訳
- ・『にほんごで働く! ビジネス日本語 30時間』別冊「ことば」のベトナム語訳
- ・『人を動かす! 実戦ビジネス日本語会話 中級1/2』教師用ガイド



<http://www.3anet.co.jp/ja-teach-support/>

みんなの日本語
漢字練習シート



Ja-Net No. 84 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2018年1月25日発行

- 発行人 藤崎政子
- 発行所 (株)スリーエーネットワーク
Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラステイ麹町ビル2F

TEL : 03-5275-2722 FAX : 03-5275-2729

E-mail : sales@3anet.co.jp

<http://www.3anet.co.jp/>

- 印刷 (株)ワコー

© 2018 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集部までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第85号は2018年4月25日発行です。